

事業評価年次報告書

2006



事業評価年次報告書

2006



独立行政法人国際協力機構

はじめに

国際協力機構(JICA)が、2003年10月に独立行政法人としてあらたに出発してから、3年あまり経ちました。この間、JICAは、日本の政府開発援助(ODA)の中心的な実施機関として、国民の皆様の期待に応え、開発途上国の経済社会の発展と平和構築に真に寄与する協力を行うために、「現場主義」「人間の安全保障」「効果・効率性、迅速性」を3つの柱として掲げ、組織・業務の改革を進めております。

事業評価は、JICAが国民の皆様の理解と支持を得つつ、より効果的・効率的な事業を実施していくための重要な手段です。この認識のもと、JICAは上記改革の一環として、事業評価の拡充・強化、事業改善に向けた評価結果の活用(フィードバック)の推進、評価結果の公表体制の充実に取り組んでまいりました。

「事業評価年次報告書」は、事業評価活動のあらましや、個別評価結果の総括を示すことにより、「JICA事業が全体として効率的・効果的に行われているのか」を、まとまった情報としてわかりやすく提供することをめざしています。なお、個別の評価結果については、ホームページを通じて迅速に公表しております。

2006年度の報告書では、人々に直接届く援助という観点から、住民主体の開発というアプローチにかかわる評価結果や、キャパシティ・ディベロップメントについて、経済連携をテーマとした評価結果を報告しています。個別案件事後評価結果を総合的に分析した結果や、提言・教訓をフィードバックした事例についても紹介しています。

また、今年で4年目の取り組みとなりますが、JICAが実施した終了時評価について、外部有識者事業評価委員会に2次評価の労をとっていただきました。今回は、あらたな試みとして委員の方々による現地調査も実施しました。事業や事業評価のあり方についてさまざまなご提言をいただいております。JICAとしてはこれらを真摯に受け止め、改善に向けた取り組みを進めていく所存です。

本報告書が、JICA事業に対する皆様のご理解をさらに深め、いっそうのご支援をいただくようすがとなれば幸いです。

最後になりましたが、本報告書の作成にあたりご協力を賜りました、外部有識者はじめ多くの方々に、あらためて心より御礼申し上げます。

2007年3月

独立行政法人国際協力機構

理事 黒木雅文

『事業評価年次報告書2006』掲載の評価調査対象国・地域





メキシコ

ドミニカ共和国

グアテマラ
ホンジュラス
エルサルバドル
ニカラグア
コスタリカ

ジャマイカ

トリニダード・トバゴ

パナマ
コロンビア

ブラジル

ボリビア

パラグアイ

チリ

アルゼンチン

ミクロネシア

パプアニューギニア

フィジー

はじめに	3
第1部 JICAの事業評価	9
第1章 JICAの事業評価活動と評価の拡充・強化への取り組み	10
第2章 評価結果の活用による事業改善	21
第3章 JICAプログラムの評価	26
第2部 プロジェクト・レベルの評価	33
第1章 2005年度個別案件評価の概況	34
第2章 個別案件評価結果の総合分析(案件別事後評価)	48
第3部 プログラム・レベルの評価	65
第1章 地域や住民主体の開発に向けたアプローチの強化	67
第2章 途上国のキャパシティ・ディベロップメントへの貢献	77
第3章 国・地域間のパートナーシップの強化	89
第4部 外部有識者事業評価委員会による2次評価	99
外部有識者事業評価委員会による2次評価について	100
第1章 2006年度2次評価結果	101
第2章 外部有識者事業評価委員による現地調査結果	137
第3章 JICAの評価と事業の改善に向けて(提言)	141
資料	
個別案件評価実績一覧(2005年度)	145
開発援助・評価用語	149

図・表・BOX 一覧

図

1-1	ODAの体系図とJICAの評価	10
1-2	JICAの事業サイクルと評価の位置づけ	11
1-3	JICAにおける評価実施体制	13
1-4	評価結果の活用パターン	21
1-5	評価の枠組み	27
1-6	貢献に至るまでの概念図	30
2-1	対象プロジェクトの地域別内訳	49
2-2	対象プロジェクトの分野別内訳	49
2-3	事後評価報告書に基づくインパクト評価結果	50
2-4	事後評価報告書に基づく自立発展性(総合)評価結果	52
2-5	自立発展性の評点分布	53
2-6	計画段階における貢献要因	56
2-7	計画段階における阻害要因	56
2-8	計画段階の貢献・阻害要因別のインパクト評点平均値の全体平均値との差	57
2-9	計画段階の貢献・阻害要因別の自立発展性評価平均値の全体平均値との差	57
2-10	実施段階における貢献要因	59
2-11	実施段階における阻害要因	59
2-12	実施段階の貢献・阻害要因別のインパクト評点平均値の全体平均値との差	59
2-13	実施段階の貢献・阻害要因別の自立発展性評価平均値の全体平均値との差	59
3-1	住民による主体的な開発のあり方と重要な構成要素	68
3-2	対象4カ国における貿易分野の社会的能力形成	80
3-3	インドネシアにおける政府の能力形成に対するJICA援助の貢献	80
3-4	マレーシアにおける政府の能力形成に対するJICA援助の貢献	82
3-5	フィリピンにおける政府の能力形成に対するJICA援助の貢献	83
3-6	タイにおける政府の能力形成に対するJICA援助の貢献	83
3-7	南南協力支援の実施にかかわる機関	90
3-8	実施国と受益国の項目別割合	95
3-9	各地域における実施国のJICA事務所の項目別割合評価	96
3-10	各地域における実施国の窓口機関の項目別割合評価	96
3-11	各地域における受益国のJICA事務所の項目別割合評価	96
3-12	各地域における受益国の窓口機関の項目別割合評価	96
4-1	2次評価体制	102
4-2	評価項目別の評点(平均点)	104
4-3	評価項目別の評点分布	105
4-4	各評価項目における視点の評点(平均点)	106
4-5	評価の質が高いといわれた4案件	110
4-6	評価の質が低いとされた4案件	110
4-7	終了時評価の質の経年的変化(評点の平均)	112
4-8	終了時評価の質の推移(評点の分布)	113
4-9	本部による評価と在外事務所による評価の質	114
4-10	事前評価の有無による評価点のばらつき(標準偏差)	115
4-11	2次評価者によるプロジェクトの評価	118
4-12	2次評価者によるプロジェクトの評価の評点分布	119
4-13	2次評価者によるプロジェクトの評価:視点(平均)	119
4-14	分野別評価(評点の平均)	122
4-15	地域別評価(評点の平均)	122
4-16	2次評価者によるプロジェクトの評価の経年的変化(平均)	123
4-17	2次評価者によるプロジェクトの評価(総合評点の平均)	123
4-18	高く評価された4案件	126
4-19	低く評価された4案件	126

表

1-1	評価5項目の視点	13
1-2	NGO-JICA評価小委員会メンバー	17
1-3	外部有識者事業評価委員会	19
1-4	評価項目と評価設問例	28
2-1	対象プロジェクト(事後評価)	48
2-2	インパクトの評点づけの基準	50

表

2-3	終了時評価と事後評価におけるインパクト評点の変化	51
2-4	自立発展性の評価づけの基準	52
2-5	終了時評価と事後評価における自立発展性(総合)評価の変化	54
2-6	終了時評価と事後評価における自立発展性(技術)評価の変化	54
2-7	終了時評価と事後評価における自立発展性(組織)評価の変化	54
2-8	終了時評価と事後評価における自立発展性(財務)評価の変化	54
2-9	貢献・阻害要因の分類項目要素の対応表	56
3-1	プログラム・レベルの評価(2005年度実施案件)	66
3-2	評価対象案件	67
3-3	現地調査団員	67
3-4	実施プロセスにおける評価視点	68
3-5	実施プロセスにおける5つの視点の重要度	74
3-6	対象4カ国の貿易分野における社会的能力(政府部門および政府-企業の関係性を含む)	79
3-7	対象4カ国の貿易分野における社会的能力(企業部門)	79
3-8	インドネシアにおけるJICA援助の開発課題別投入	81
3-9	マレーシアにおけるJICA援助の開発課題別投入	82
3-10	フィリピンにおけるJICA援助の開発課題別投入	83
3-11	タイにおけるJICA援助の開発課題別投入	84
3-12	社会的能力の発展ステージに応じた貿易分野の協力プログラム	86
3-13	事例分析の対象国	89
3-14	効果の分類	91
3-15	地域別の南南協力実施状況(支援形態・位置づけ・効果)	97
3-16	地域別の促進要因と阻害要因	98
4-1	2004年度、2005年度、2006年度の評価視点および評価スケールの比較	103
4-2	2次評価項目	104
4-3	総合評点上位4案件と下位4案件における評点の平均	110
4-4	質が高いと評価された終了時評価	111
4-5	質が低いと評価された終了時評価	111
4-6	終了時評価の質の経年的変化(評点の平均)	112
4-7	「妥当性」と「有効性」「効率性」「インパクト」「自立発展性」との相関	121
4-8	分野別評価(評点の平均)	122
4-9	地域別評価(評点の平均)	122
4-10	地域別・分野別プロジェクト数	123
4-11	2次評価者によるプロジェクトの評価の経年的変化	123
4-12	5項目評価項目と要因との相関	125
4-13	総合評点上位4案件と下位4案件における視点・評点の平均	126
4-14	2次評価者によって高く評価されたプロジェクト:上位4案件	127
4-15	2次評価者によって低く評価されたプロジェクト:下位4案件	127

Box

BOX1	評価主任研修—JICAの評価能力の向上に向けて	15
BOX2	多様な事業への評価の導入—ボランティア事業	17
BOX3	NGOとの協力—住民主体による開発の効果的な実施に向けて	18
BOX4	事業評価におけるほかの援助機関との連携—国際協力銀行(JBIC)	19
BOX5	外部有識者による2次評価	20
BOX6	マラウイ・ベトナムでの評価事例	31
BOX7	特定テーマ評価「地方行政能力向上」	76
BOX8	評価結果の総合分析「高等教育」	88

付表

付表1	2006年度に実施した2次評価プロジェクト一覧	130
付表2	2次評価票(2006年度版)	131